



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



心がほっこりしました。そして、今日はオープンスクール！

— Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）—

今週も大変暑い週明けとなりました。残暑もまだ続いています。熱中症にはまだまだ注意が必要な状況です。2学期が始まり3週間目に突入、子供達には是非、この暑さや何となく気だるいしんどさに負けず、子供らしく、明るく元気に頑張っていて欲しいと思っております。

さて、先週、一つの事件がありました。登校中の児童の黄帽子が溝に落ちてしまい、流されてしまうということがありました。溝には水が流れ、溝蓋もあり、その行方も分からないということでした。知らせを聞いて、職員の方も現場に行き、流れて行きそうな場所やその周辺を探しましたが残念ながら見つけることはできませんでした。お家の方にもその旨をお伝えしておりました。水の流れも結構あり、溝も枝分かれしていますので、見つけるのがなかなか難しいのかなあと感じておりました。ところが、一昨日、地域の方が学校に黄帽子を届けてくださいました。近くの田んぼの溝で見つけたということでした。先日、職員が探しにいった時に、職員とたまたまお話をされていたそうで、この事情をご存じだったようです。わざわざ、学校まで届けてくださいました。本当にありがたいことです。地域の方の大変あたたかい思いに、嬉しさを感じるとともに胸が熱くなりました。このように中番小学校は、あたたかい地域の方に見守られ、目に見えないやさしさに包まれていることを改めて感じました。本当にありがとうございました。

本日のオープンスクールは、折しも「道徳」の授業参観とさせていただきます。子供達は、様々な道徳的な価値について考えてくれたものと思います。少し堅苦しく言いますと「道徳は、自立した一人の人間として人

生を他者とともににより良く生きる人格を形成することを目指すもの」です。道徳教育においては、「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を前提に、人々が互いに尊重し協働して社会を形作っていく上で共通に求められるルールやマナーを学び、規範意識などを育むとともに、人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生きるべきかなどについて、時には悩み、葛藤しつつ、考えを深め、自らの生き方を育んでいくこと」（学習指導要領解説【特別の教科道徳編】）が求められています。大変硬くなりましたが、道徳では、「一人の人間としての生き方を子供達一人一人がしっかりと考える」ということになります。今や世界は益々身近に迫り、その垣根が分からなくなっています。子供達が出会う人々も、このグローバル化が進展する世界では、様々な文化や価値観をもった人々となります。そして、これからも科学技術や経済がこれからも目まぐるしく発展していくでしょう。そのような変化が激しい社会の中では、何より「多様性」が大変重要になってきます。多様な価値観の存在を認識し、いかに理解していくかが大きなポイントになってきます。自分だけの考えだけでは成り立ちません。当然、相反する考えも出てくるでしょう。その時、対立するだけでは何の解決にもなりません。互いに合意形成を図ることが重要になってきます。幅広い視野に立ち、よりよい方向で解決できるようにしていくことが大切です。道徳では、そのような考え方を身に付けながら、道徳価値観を磨いて欲しいと願っています。本日のオープンスクールのアンケートもいつも通り、メールにより配信させていただきますので、保護者の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍における様々な対応について、保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜っておりますこと深く感謝申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携を深め児童にとって、「明日も行きたい！学ばたい！学校」を目指し、様々な教育活動を進め、共に歩んでいきたいと願っております。